

1. 学校概要
2. 学校運営
3. 各学科等の教育活動
(受入れ、成績、進級・卒業、成績評価の辞意方針、学科の教育活動)
4. キャリア教育・実践的職業教育
5. 学生活動、教育環境
6. 学生の生活支援
7. 修学支援
8. 役員名称、職員数
9. 学校の財務
10. 自己評価

学校法人田中育英会 東京工学院専門学校 公開情報

1. 学校概要

【設置者】

学校法人田中育英会

【所在地】

東京都小金井市前原町5-1-29

【連絡先】

TEL 042-387-5111 (代表)

Mail info@technos.ac.jp

【理事長】

上島 万紀子

【校長】

小川 一廣

【姉妹校】

東京エアトラベル・ホテル専門学校

【学院の沿革】

1959年 ・名城大学附属東京テレビ高等技術学校設立

1965年 ・学校法人田中育英会設立

1976年 ・東京工学院を東京工学院専門学校に校名改称

東京ビジネス観光学院を東京ビジネス専門学校に校名改称

1990年 ・東京工学院専門学校、東京工学院情報専門学校、東京工学院芸術専門学校を東京工学院専門学校とし新編成体制に入る

・東京ビジネス専門学校、東京エアトラベル専門学校、東京ソフィア外語学校を東京エアトラベル専門学校として新編成体制に入る

1991年 ・東京工学院専門学校、東京エアトラベル専門学校 小金井新校舎に移転

1999年 ・東京エアトラベル専門学校を東京エアトラベル・ホテル専門学校に校名改称

2005年 ・東京工学院専門学校、東京エアトラベル・ホテル専門学校、両校の呼称を総合学院テクノスカレッジとする

【教育理念・目的・育成人事】

本学の教育理念、目的、育成人材像は学校創設者による「建学の精神」に示されている通り、己の天職を求めて研鑽に励み、国際社会の文化と福祉に貢献することを目的に学問をし、豊かな人間性を育むと共に常に専門知識の奥深さを究明しながら、天職をまっとうし得る人材を育成する。人の生涯は天職をまっとうするところに意義があると謳われている。

本学は学校教育法による教育機関として、工学、情報技術、芸術、教育・福祉分野に関する専門教育を行い、専門的知識・技能を修得させると共に、総合力、人間力を兼ね備えた有能にして教養のある人材を育成することを目的としている。その具現化のために専門に関する基礎知識を学び、インターンシップや校外実習を行い、また学内においても近隣の子どもたち対象に有料、無料の各種教室等、事業を学生たち自身が立ち上げ運営しており、社会人として必要な次のような能力を育むことを具体的な教育目標としている。

- ア) 自ら考えて行動できる能力
- イ) コミュニケーション能力
- ウ) リーダーシップ&チームワーク
- エ) チャレンジ精神

またイギリスのオックスフォード大学をはじめとする、アメリカ、ニュージーランド等の海外姉妹 10 大学と交流により、国際感覚、語学力を養う。毎年 10 大学の海外姉妹校から教授、留学生が来校し、本校の学生たちと交流するインターナショナルウィークがある。また海外姉妹校からは本校の学生が招待され、選抜された学生は海外の大学での授業やホームステイ体験等により、語学や外国文化を学ぶことができる。このようにして将来国際社会の文化と福祉に貢献が期待される人材を育成しており、育成人材像の目的の一つとしている。また、小金井市、国分寺市と包括連携協定を締結し社会貢献、地域貢献拡充による学生の学修機会のさらなる拡充を図る。

【目標・計画】

社会の変化や教育界の改革などにより大きく変動するマーケットの中で、本校ならではの価値の最適な進化とそれに伴う募集広報力の改革的向上を図るため、本校のブランド価値をより明確に高めるための3ヵ年計画「テクノス戦略 2025」を姉妹校東京エアトラベル・ホテル専門学校とともに策定しスタートした。具体的にはブランド価値構築、学修支援、キャリア支援、募集広報など7つの戦略テーマと目標を設定し、2025 年度末の KGI 達成のためのアクションプランを遂行する。

2. 学校運営

・事業計画、収支予算については、毎年度理事会にて審議・決定している。

また、年度初めに理事長から全教職員に対し、年間目標・年度方針が伝達され、全教職員が目標達成に努力している。

・就業規則、賃金規定等の規定は整備されている。

・総務部、教務部、広報企画部、学生部等の部が組織され、各学科を超えた課題事項を検討、解決策を決定し実施している。

・情報公開については、ホームページ、パンフレット等により適正に公開している。

・情報システムについては、本校独自のシステムにより、業務の効率化・円滑化が図られている。

3. 各学科等の教育活動

【入学者に関する受け入れ方針】

出願資格

- ① 本校入学に際し、明確な目的意識と学修意欲のある者
- ② 高等学校を卒業または卒業見込みの者
- ③ 高等学校における出席率が良好の者
- ④ 外国において 12 年以上の学校教育を修了または修了見込みの者

上記の出願者に対して、AO、学校推薦、指定校推薦、一般入試を実施 書類審査、人物評価、作品評価にて入学を許可する。

【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

成績評価

(1) 成績は、定期試験、小テスト、レポート、提出物、学習態度、出席率の総合評価によって決定される。

(2) 成績評価

100点～90点	S評価	合格
89点～80点	A評価	合格
79点～70点	B評価	合格
69点～60点	C評価	合格
59点以下	D評価	不合格

進級・卒業の要件

- (1) 全ての履修科目において、60点以上の成績評価にて合格
- (2) 全ての履修科目において、出席率80%以上の出席
- (3) 定期試験の全科目受験（試験は課題或いはレポートに代替される場合がある）
- (4) 進級面接又は卒業面接がある場合は、必ずしていされた日時に受ける
- (5) 日時指定された進級・卒業者発表日に出席する

補足

条件付進級、条件付卒業と判定され、条件を満たさなかった場合は進級又は卒業を放棄したものとみなされる
留年と判定された場合は、全科目再履修原則とする

【成績評価の実施方針】

成績評価とGPA算出方法

本校では、成績評価においては、下記のとおりにGPA (Grade Point Average) 制度を定め、
学内の成績評価を行うとともに、成績の分布状況を把握し、学習意欲の向上、適切な学習指導に
努めます

1. GPAの算出方法

学生のしおり（学科履修要項）に基づき成績は定期試験、小テスト、レポート、提出物、出席率によって決定し以下の基準によりGPAを算出する

2. GPAの定義と成績評価成

学生が履修した全科目の成績（100点満点）の各履修科目ごとのグレード・ポイントを合算し、その値を総単位数で割ったものがGPAとなる

成績評価（100点満点）	評価	GP
90-100点	S 合格	4
80- 89点	A 合格	3
70- 79点	B 合格	2
60- 69点	C 合格	1
0- 59点	D 不合格	0

59点以下は不合格となり修了認定はしない

下記の計算式により算出

$$GPA = \frac{(4 \times S \text{の修得単位数} + 3 \times A \text{の修得単位数} + 2 \times B \text{の修得単位数} + 1 \times C \text{の修得単位数})}{\text{総単位数 (Dを含む)}}$$

4. キャリア教育・実践的職業教育

キャリア支援プログラム

本校でのキャリア支援は入学時からスタートし、長年の経験から、各業界の動きを明確に把握している教職員が、一緒に目標を立て、卒業までに身につけたい力を考える。本物の教育と連動したプログラムで、より実践的に、また一人ひとりの目的に合わせた指導を行う

- ① 自己理解（自分の適正を知り、学修テーマを決める）
- ② 社会理解（社会の仕事を知り、必要な力を考える）
- ③ 目標設定（将来の目標に対して、学ぶ動機を高める）
- ④ 専門性・総合力・人間力醸成（活躍の場に向けて、必要な力を身につける）
- ⑤ 就職力養成（就職に向けて、サポートを受けながら就職を実現させる）
- ⑥ キャリア拡充（キャリアアップやキャリアチェンジに対してバックアップ）

実践的職業教育

業界ニーズに合った知識やスキルの習得を目的に、学生が各業界の企業や団体で経験を積むことが基本

- ① F C インテルナツィオナーレ・ミラノと提携し、インテルアカデミージャパンで現場実習
- ② 小笠原プロジェクト（小笠原観光協会と連携し小笠原PR）
- ③ テクノスポーツクラブ（学生が運営するスポーツクラブ）
- ④ きしゃぼっぽ保育園（敷地内にある認可保育園での現場実習）
- ⑤ 企業インターンシップ
- ⑥ 小金井市・国分寺市の地域イベントへの技術協力

就職支援

人間力を養う7つのサポートプログラム

- ① 従業とマナー（社会人として欠かせない基本マナーやルール）
- ② キャリアカウンセリング（いつでも学生の相談に応じることができるようスタッフが常駐）
- ③ 就職ガイダンス（学内で作成した就職ハンドブックをもとにし、就職について理解）
- ④ Uターン就職／Iターン就職（夏季休暇などを利用して、企業訪問ができるように指導）
- ⑤ 個別企業説明会（学内で開催される企業説明会）
- ⑥ 校内入社試験（学内で本校学生対象の入社試験）
- ⑦ 模擬面接

5. 学生活動・教育環境

学校行事

- 4月 入学オリエンテーション
入学式、健康診断
- 5月 研修旅行（本校所有の研修施設）
- 6月 インターナショナルウィーク（海外姉妹校10校から留学生・教授が来日）
- 7月 こどもまつり
- 8月 MUSAKO FEST（学生が実施する音楽イベント）、海外研修
- 9月 期末試験
- 10月 学院祭
- 12月 クリスマスイベント
- 2月 卒業作品展、期末試験、オックスフォード研修
- 3月 卒業式

部活動

バレーボール部、バスケットボール部、サッカー部、ダンス部、軽音楽部、テニス部、バトミントン部
フットサル部、野球部、水泳部、その他

教育環境

校舎（地下1階 地上9階）
各学科の実習室、座学教室

施設

体育館
グラウンド（全前人工芝）
テニスコート
温水プール
ライブハウス
カフェテリア（食堂）
カフェ&ジョップ（喫茶、購買）
トレーニングルーム
図書館
キャリアセンター
カウンセリングルーム
駐輪場

CAMPUS MAP

不思議なキャンパス、テクノスのここにビックリ!

キャンパス内にある
ちょっと
ビックリする情報を
紹介します!

保育園の子どもたちも
キャンパスを利用している!?

キャンパス内に「きしゃぽっぽ保育園」が併設
されており、子どもたちがキャンパス内の施設
を使っています。学生たちは保育士として現場
の経験を積んだり、子どもたちに英語を教えた
りしています。



どこも観光スポットにも
見劣りしない
クリスマスツリーが突然現れる!?

12月にクリスマス・イベントが開催され、そのクリ
スマスツリーをコンサート・イベント会場が設置します。他
上着のフリースやスウェット・イベント会場はSNS映
え間違いなし! 各建物で豪華グッズもイベントに参加
します。高校生も参加OKです。



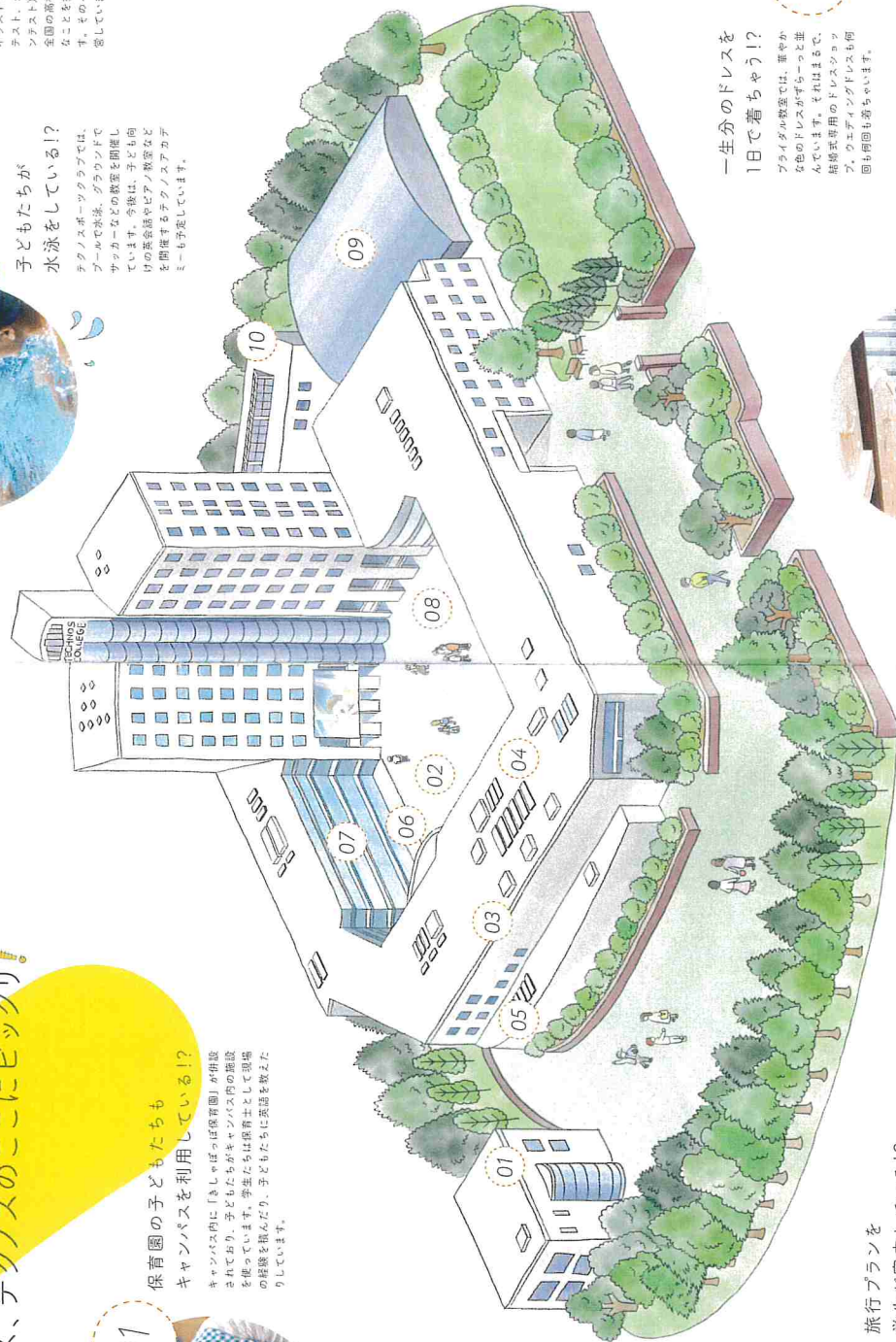
旅行プランを
学生が案内している!?

授業で必要な道具や服装・飲食物が購
入できるテクノスポート（購買）。他
校の中には、観光・ツアー・イベントが運
営する「テクノスポート」があり、
旅行プランなども希望に応じて学生
が案内してくれます。



学生が設計した部屋が
開放されている?

建築学科とインテリアデザイン科の学生が
設計した部屋がキャンパス内にあります。



子どもたちが
水泳をしている!?

テクノスポートクラブでは、
プールで泳ぎ、グラウンドで
サッカーなどの部活動を開催し
ています。今後は、子ども向
けの茶会やピアノ教室など
を開催するテクノスポート
も予定しています。



高校生が踊ったり、
演奏したり、
絵を描いたり
実力を発揮したり!?

イラストコンテスト、バンドコン
テスト、ダンスパーティー（ダンスコ
ンテスト）が年内で終わっており、
全国の高校生が好きなことや得意
なことを披露する場となっています。
そのイベントも学生たちが運
営しています。

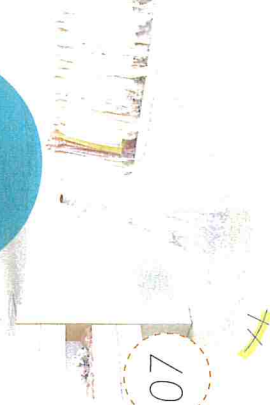


毎年1回、
中庭が海外になる期間がある!?

中には、年1回海外の学生たちが集まります。こ
れが全員参加型の「インターナショナルウィーク」留学に関
けなくても海外の学生たちを日々に抱擁して話をしよう!
※2020年度はオンラインで実施予定です。

一生分のドレスを
1日で着ちゃう!?

ブランドの教室では、華やか
な色のドレスがずらりと並
んでいます。それはまるで、
結婚式のドレスショップ。
ウエディングドレスも何
回も何回も着ちゃいます。



番組が作れるスタジオは
本物より広いかも!?

映像メディア学科が授業を行うテレビステ
ジオが地下1階にあります。各種イベン
トの収録として使用されたり、ミュージッ
クのPV撮影なども行われています。



学生たちの憩いの場は、
熱い議論が交わされている?

カフェテリアでは、お昼の食事や休憩をするだ
けでなく、ゼミの授業や大人数で授業をする
場にも使われています。



CAMPUS MAP

キャンパスマップ



TVスタジオ・副調整室



第一録音スタジオ



テクノホール



ライブハウス[AtoZ]



ピアノ実習室



スキルアップルーム



図書室



東京工学院
きしゃぼっぱ保育園



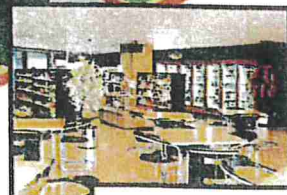
プール



バーチャルスタジオ



保育実習室



カフェ&ショップ
「TECHNOS PORT」



Macルーム



電気・電子実験室



体育館



建築・インテリア実習室



トレーニングルーム



フライトシミュレーター

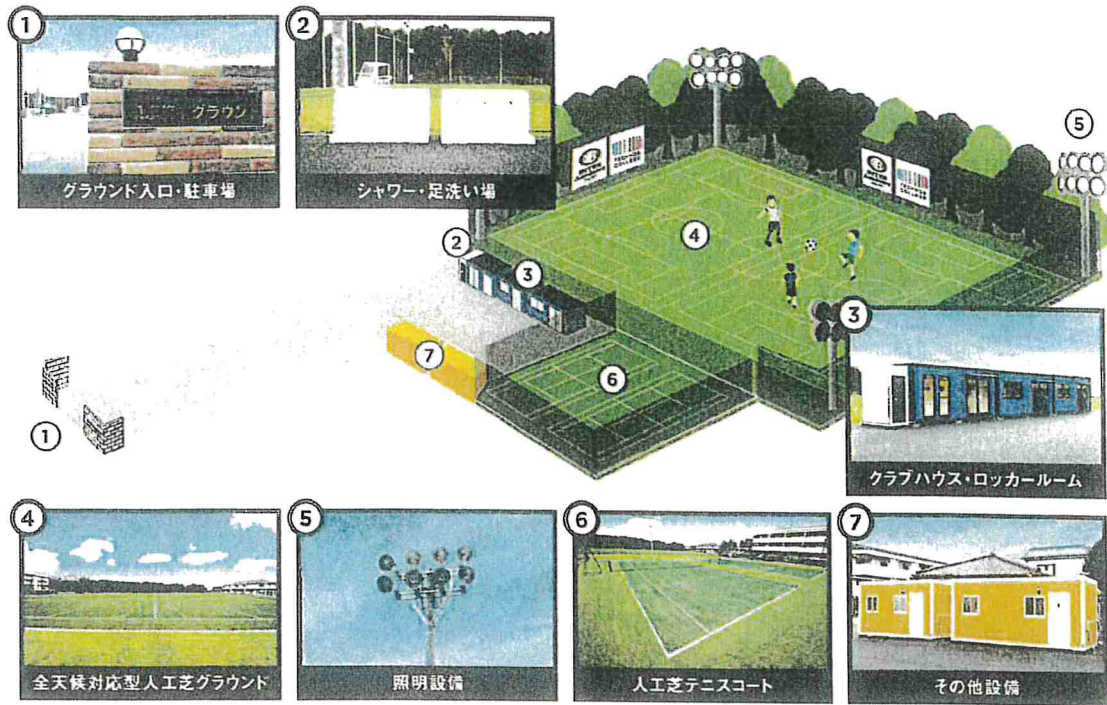


カフェテリア

テクノスカレッジのグラウンド「東京府中グラウンド」

「インテルアカデミージャパン」のサッカー場としても利用されるこのグラウンドは、全天候型の人工芝仕様。

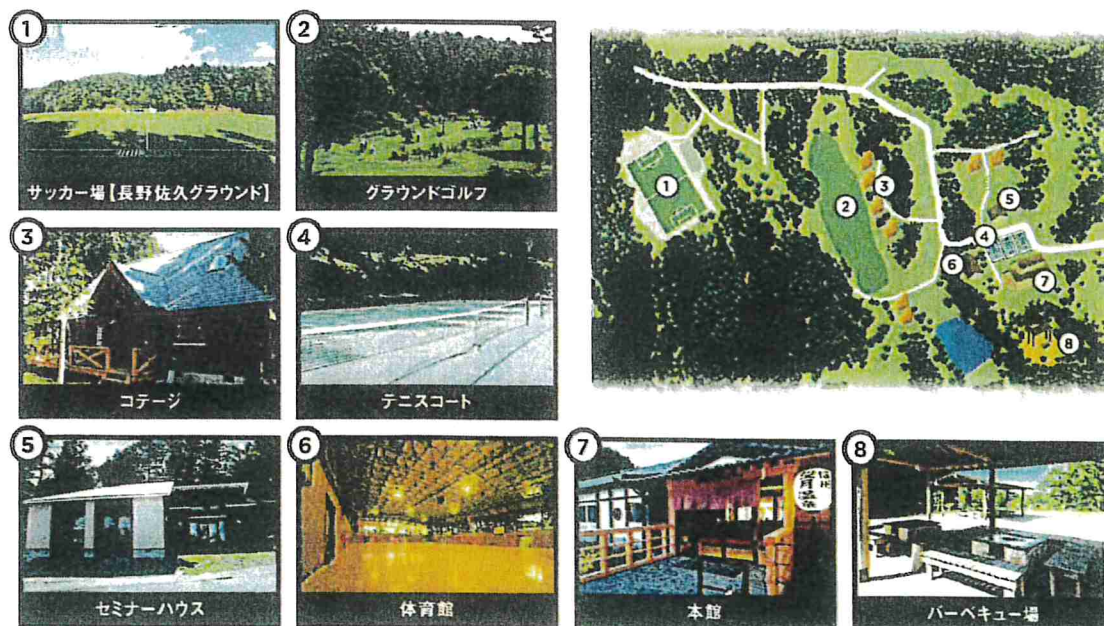
照明設備やシャワールーム、クラブハウス、脱衣所なども完備しています。各種スポーツ競技に対応可能なグラウンドです。



テクノスカレッジの総合研修施設「みどりの村」

リゾート地として名高い信州・千曲川のほとり、望月御牧ヶ原高原にある本学院所有の総合研修施設「みどりの村」。

全学科の全学生が参加するオリエンテーション宿泊研修をはじめ、各種研修、勉強合宿、クラブ活動などの合宿に使用されています。



6. 学生の生活支援

安心・快適なキャンパスライフを過ごすために、専任の看護師が保健室に常駐、専門のスクールカウンセラーが相談に応じるカウンセリングルームを設置

卒業生対象の校友会活動により、卒業生同志の交流会、情報交換会を開催、社会情勢を把握できるようにしている

7. 修学支援

奨学金（免除）学費の全額または一部免除

- ① 特待生奨学金制度
- ② スポーツ特待生奨学金制度
- ③ 文化クラブ・課外活動特待生奨学金制度
- ④ 学歴・仕事経験優遇制度
- ⑤ 自宅外通学者補助制度
- ⑥ AO奨学金制度
- ⑦ 資格奨学金制度

奨学金（無利子貸与）

- ⑧ 田中育英会奨学金制度（500,000 円以内）
- ⑨ 校友会・同窓会奨学金制度（500,000 円以内）

8. 役員名称、職員数

役 職		氏 名
理 事 長 (理事6名)	第7条第1項第2号理事	上島 万紀子
	第7条第1項第2号理事	瀧 仁子
	第7条第1項第1号理事	木立 眞行
	第7条第1項第3号理事	岡田 清
	第7条第1項第3号理事	平川 愛
	第7条第1項第3号理事	木矢 則雄

学校長	教員	教員（兼務者）	事務職員
1 名	5 0 名	200名	4名

学費 & 教材費一覧 東京工学院専門学校

学科	入学金	授業料	実習費	施設費	1年次合計	2年次合計	卒業までの合計
コンサート・イベント科	200,000	720,000	130,000	200,000	1,250,000	1,050,000	2,300,000
音響芸術科	200,000	720,000	130,000	200,000	1,250,000	1,050,000	2,300,000
映像メディア学科	200,000	720,000	130,000	200,000	1,250,000	1,050,000	2,300,000
ミュージック科	200,000	650,000	130,000	200,000	1,180,000	980,000	2,160,000
声優・演劇科	200,000	650,000	130,000	200,000	1,180,000	980,000	2,160,000
ゲームクリエイター科	200,000	670,000	130,000	200,000	1,200,000	1,000,000	2,200,000
アニメ・マンガ科	200,000	670,000	130,000	200,000	1,200,000	1,000,000	2,200,000
デザイン科	200,000	670,000	130,000	200,000	1,200,000	1,000,000	2,200,000
CGクリエイター科	200,000	670,000	130,000	200,000	1,200,000	1,000,000	2,200,000
スポーツビジネス科	200,000	650,000	130,000	200,000	1,180,000	980,000	2,160,000
こども学科	200,000	742,000	165,000	200,000	1,307,000	1,107,000	3,521,000
幼児保育学科	200,000	770,000	180,000	200,000	1,350,000	1,150,000	2,500,000
公務員科	200,000	450,000	130,000	200,000	980,000	780,000	1,760,000
建築学科	200,000	650,000	130,000	200,000	1,180,000	980,000	2,160,000
インテリアデザイン科	200,000	520,000	130,000	200,000	1,050,000	850,000	1,900,000
情報システム科	200,000	650,000	130,000	200,000	1,180,000	980,000	2,160,000
電気電子学科	200,000	650,000	130,000	200,000	1,180,000	980,000	2,160,000
航空学科	200,000	670,000	130,000	200,000	1,200,000	1,000,000	2,200,000
教育専攻科	200,000	822,000	130,000	200,000	1,352,000	1,152,000	4,808,000
法律情報科	200,000	620,000	130,000	200,000	1,150,000	950,000	2,100,000
経営情報科	200,000	620,000	130,000	200,000	1,150,000	950,000	2,100,000
大学併修学科	200,000	650,000	130,000	200,000	1,180,000	980,000	4,120,000
研究科	200,000	440,000	130,000	200,000	970,000	———	970,000

※大学コースを選択されている方は、1・2年次は各学科の学費、3・4年次は大学併修学科（196万円）または教育専攻科（230万4,000円）が適用されます。大学、短大の科目履修費については本学が奨学金として負担します。（P32 参照）

※併修大学に産業能率大学・日本大学・中央大学を選択した場合は大学併修学科へ3年次編入、姫路大学・星槎大学を選択した場合は教育専攻科への3年次編入となります。

● 教材費一覧 教科書・教材費（2021年度1年生例） ※2022年度募集学科とは編成が異なるため、参考値としてご確認ください

コンサート・イベント科	48,570	こども学科	<保育士・幼稚園教諭2種コース>	78,760
音響芸術科	52,090	幼児教育学科	<保育士・幼稚園教諭2種コース>	78,760
放送芸術科	46,860	公務員科		27,230
ミュージック科	コース共通 87,620	建築学科	コース共通	70,090
声優・演劇科	コース共通 44,650	インテリアデザイン科		78,990
ゲームクリエイター科	<ゲームクリエイターコース> 29,850	情報システム科		42,440
	<おもちゃクリエイターコース> 31,910	電気電子学科	<電気工学コース>	108,850
アニメーション科	コース共通 68,610		<電子技術コース>	48,950
マンガ科	77,970	航空学科		32,100
Webデザイン科	23,210	法律情報科		20,210
グラフィックデザイン科	68,170	経営情報科		19,350
CGクリエイター科	72,280	大学併修学科	<法律情報コース>	20,410
スポーツビジネス科	<スポーツマネジメントコース> 63,700		<経営情報コース>	26,400
	<スポーツトレーナーコース> 80,320	研究科		19,640
	<スポーツインストラクターコース> 78,010			
	<サッカーエキスパートコース> 71,570			

（単位：円）

● 入学前にノートパソコンをご用意ください

本学ではICTを活用した学修を推進するにあたり、新入生全員にノートパソコンを必携していただいております。

既にお持ちのノートパソコンが、学科で必要とするスペックを備えている場合は新たに購入いただく必要はございません。

スペックについては入学希望学科の教員までお問い合わせください。

資金収支計算書

自:令和03年4月 1日

至:令和04年3月31日

学校法人 田中育英会

収入の部		単位 円
科目	決算額	備考
学生生徒等納付金収入	(1,457,401,250)	
手数料収入	(12,828,202)	
寄付金収入	(0)	
資産売却収入	(3,167,922,485)	
付随事業・収益事業収入	(20,004,000)	
受取利息・配当金収入	(252,293,765)	
雑収入	(19,694,867)	
借入金収入	(0)	
前受金収入	(804,796,886)	
その他の収入	(328,953,448)	
資金収入調整勘定	(△ 1,013,586,280)	
前年度繰越支払資金	2,349,211,204	
収入の部合計	7,399,519,827	

支出の部		単位 円
科目	決算額	備考
人件費支出	(879,965,561)	
教育研究費支出	(254,042,045)	
管理経費支出	(738,636,284)	
借入金等利息支出	(21,850,475)	
借入金等返済支出	(99,990,000)	
施設関係支出	(215,541,022)	
設備関係支出	(62,979,400)	
資産運用支出	(1,531,427,140)	
その他の支出	(424,376,745)	
予備費	(0)	
資金支出調整勘定	(△ 127,900,301)	
翌年度繰越支払資金	3,298,611,456	
支出の部合計	7,399,519,827	

事業活動収支計算書

自:令和03年4月 1日

至:令和04年3月31日

単位 円

区分	科目	決算額	備考
教育活動収入	学生生徒等納付金	(1,457,401,250)	
	業手数料	(12,828,202)	
	活寄付金	(0)	
	動付随事業・収益事業収入	(0)	
	収雑収入	(19,694,867)	
	入教育活動収入計	1,489,924,319	
	事業人件費	(879,965,561)	
	活動教育研究経費	(410,290,703)	
	支出管理経費	(819,148,284)	
	出教育活動支出計	2,109,404,548	
	教育活動収支差額	△ 619,480,229	
	教育収入	252,293,765	
	活動収益事業収入	20,004,000	
	活動外収入計	272,297,765	
教育活動外収支	支出借入金利息	21,850,475	
	活動外支出	0	
	その他の教育活動外支出	0	
	出教育活動外支出計	21,850,475	
	教育活動外収支差額	250,447,290	
	經常収支差額	△ 369,032,939	
	特別収入	(1,473,213,940)	
	収入資産売却差額	(1,473,213,940)	
	特別収入計	1,473,213,940	
	支出資産処分差額	(5,303,002)	
	特別支出計	5,303,002	
	特別収支差額	1,467,910,938	
	予備費	0	
	基本金組入前当年収支差額	1,098,877,999	
	基本金組入額(△)	203,010,422	
	当年度収支差額	895,867,577	
	前年度繰越収支差額	2,833,633,922	
	基本金取崩額	0	
	翌年度繰越収支差額	3,729,501,499	

基 本 金 明 細 表

自 令和03年4月 1日

至 令和04年3月31日

学校法人 田中育英会

単位:円

事 項	要組入高	組入高	未組入高	摘 要
第 1 号 基 本 金				
当 期 末 残 高	17,749,878,754	17,849,868,754	2,170,972,820	
第 4 号 基 本 金				
当 期 末 残 高	500,000,000	500,000,000	0	
合 計				
当 期 末 残 高	18,249,878,754	18,349,868,754	2,170,972,820	

貸 借 対 照 表

自 令和03年4月 1日

至 令和04年3月31日

学校法人 田中育英会

資 産 の 部		単位:円	
科 目	本年度末	前年度末	増(△)減
固 定 資 産	《 21,827,418,125 》	《 21,704,583,859 》	《 122,834,266 》
有 形 固 定 資 産	(12,621,759,553)	(12,482,351,789)	(139,407,764)
土 地	8,902,165,305	8,902,165,305	0
建 物	3,155,722,092	3,127,460,781	28,261,311
構 築 物	224,019,801	233,781,201	△ 9,761,400
教 育 研 究 用 機 器 備 品	48,885,778	49,806,436	△ 920,658
管 理 用 機 器 備 品	72,903,120	34,767,680	38,135,440
図 書	128,968,707	128,968,707	0
車 両	2,894,750	5,401,679	△ 2,506,929
建 設 仮 勘 定	86,200,000	0	86,200,000
そ の 他 の 固 定 資 産	(9,205,658,572)	(9,222,232,070)	(△ 16,573,498)
電 話 加 入 権	1	1	0
ソ フ ト ウ ェ ア	21,942,000	33,390,000	△ 11,448,000
有 価 証 券	7,437,910,479	7,606,494,886	△ 168,584,407
長 期 貸 付 金	1,735,806,092	1,571,347,183	164,458,909
敷 金 ・ 保 証 金	10,000,000	11,000,000	△ 1,000,000
流 動 資 産	《 3,674,318,437 》	《 2,846,340,952 》	《 827,977,485 》
現 金	10,527,774	2,576,499	7,951,275
預 金	3,288,083,682	2,346,634,705	941,448,977
短 期 貸 付 金	208,083,100	176,237,250	31,845,850
前 払 金	0	147,350,000	△ 147,350,000
仮 払 金	2,537,200	11,888,350	△ 9,351,150
立 替 金	165,086,681	161,654,148	3,432,533
資 産 の 部 合 計	25,501,736,562	24,550,924,811	950,811,751

運用資産	10,736,521,935
外部負債	2,595,135,376
差額	8,141,386,559

貸 借 対 照 表

自 令和03年4月 1日

至 令和04年3月31日

学校法人 田中育英会

負 債 の 部		単位:円	
科 目	本年度末	前年度末	増(△)減
固 定 負 債	(2,300,050,000)	(2,400,040,000)	(△ 99,990,000)
長 期 借 入 金	2,300,050,000	2,400,040,000	△ 99,990,000
流 動 負 債	(1,122,316,309)	(1,170,392,557)	(△ 48,076,248)
未 払 金	295,085,376	138,697,519	156,387,857
未 前 受 金	804,796,886	1,013,586,280	△ 208,789,394
預 り 金	22,434,047	18,108,758	4,325,289
仮 受 金	0	0	0
負 債 の 部 合 計	3,422,366,309	3,570,432,557	△ 148,066,248
基 本 金	(18,349,868,754)	(18,146,858,332)	(203,010,422)
第 1 号 基 本 金	17,849,868,754	17,646,858,332	203,010,422
第 4 号 基 本 金	500,000,000	500,000,000	0
繰 越 収 支 差 額	(3,729,501,499)	(2,833,633,922)	(895,867,577)
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	3,729,501,499	2,833,633,922	895,867,577
純 資 産 の 部 合 計	22,079,370,253	20,980,492,254	1,098,877,999
負 債 の 部 及 び 純 資 産 の 部 合 計	25,501,736,562	24,550,924,811	950,811,751

注記 1、 固定資産の減価償却の方法;建物他教育関連固定資産につき定額法により每期償却をしている。

2、減価償却の累計額の合計額 11,605,773,296 円。

3、有価証券の評価方法 移動平均法による原価法。

4、有価証券の期末時価 9,375,099 千円。

5、翌会計年度以後に基本金の組入れを行う金額 2,170,972,820 円。

固定資産明細書

自 令和03年4月 1日
至 令和04年3月31日

学校法人 田中育英会

資産の名称	期首残高 (円)	当期増加額 (円)	当期減少額 (円)	期末残高 (円)	減価償却累計額 (円)	差引期末残高 (円)	当期減価償却費 (円)	備考
土地 計	8,902,165,305	0	0	8,902,165,305	0	8,902,165,305	0	
建物 計	12,922,841,536	215,541,022	0	13,138,382,558	9,982,660,466	3,155,722,092	187,279,711	
他有形資産 計	2,002,507,586	149,179,400	0	2,151,686,986	1,587,814,830	563,872,156	38,032,956	
その他(有価証券、敷金保証等)計	9,246,082,070	1,703,820,155	1,708,945,653	9,240,956,572	35,298,000	9,205,658,572	11,448,000	
総合計	33,073,596,497	2,068,540,577	1,708,945,653	33,433,191,421	11,605,773,296	21,827,418,125	236,760,667	

借入金明細表

自 令和03年4月 1日
至 令和04年3月31日

借入先	期首残高 (円)	当期増加額 (円)	当期減少額 (円)	期末残高 (円)	利率	返済期限	摘要
長期借入金							
計	2,400,040,000	0	99,990,000	2,300,050,000		支払利息(円) 21,850,475	
短期借入金							
計							
合計	2,400,040,000	0	99,990,000	2,300,050,000			

監 査 報 告 書

学校法人 田 中 育 英 会

理 事 長 上島 万紀子 殿

令和3年度（令和3年4月1日より令和4年3月31日）の収支決算書類及び
資産目録を監査したところ適正に表示されていることを認める。

令和4年5月29日

東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目30番16号

学校法人 田 中 育 英 会

監 事 新 城 健 蔵



監 事 山 元 久 栄



事業報告

法人の概要

(1) 学校法人田中育英会の沿革

- 1959 年 ・名城大学附属東京テレビ高等技術学校設立
- 1965 年 ・学校法人田中育英会設立
- 1976 年 ・東京工学院を東京工学院専門学校に校名改称
東京ビジネス観光学院を東京ビジネス専門学校に校名改称
- 1990 年 ・東京工学院専門学校、東京工学院情報専門学校、東京工学院芸術専門学校を東京工学院専門学校とし新編成体制に入る
・東京ビジネス専門学校、東京エアトラベル専門学校、東京ソフィア外語学校を東京エアトラベル専門学校として新編成体制に入る
- 1991 年 ・東京工学院専門学校、東京エアトラベル専門学校 小金井新校舎に移転
- 1999 年 ・東京エアトラベル専門学校を東京エアトラベル・ホテル専門学校に校名改称
- 2005 年 ・東京工学院専門学校、東京エアトラベル・ホテル専門学校、両校の呼称を総合学院テクノスカレッジとする

(2) 設置する学校の定員・在籍数（直近3年度）

2020 年度

東京工学院専門学校

総定員 1940 人

在籍者 1134 人

2020 年度

東京エアトラベル・ホテル専門学校

総定員 780 人

在籍者 524 人

2020 年度

東京工学院日本語学校（各種学校）

総定員 100 人

在籍者 12 人

2021 年度

東京工学院専門学校

総定員 1920 人

在籍者 1088 人

2021 年度

東京エアトラベル・ホテル専門学校

総定員 760 人

在籍者 434 人

2021 年度

東京工学院日本語学校（各種学校）

総定員 100 人

在籍者 15 人

2022 年度

東京工学院専門学校

総定員 1920 人

在籍者 793 人

2022 年度

東京エアトラベル・ホテル専門学校

総定員 760 人

在籍者 265 人

2022 年度

東京工学院日本語学校（各種学校）

総定員 100 人

在籍者 5 人

教育用施設の概要（2022 年 5 月 1 日現在）

東京工学院専門学校 建物（19,645 m²）

東京エアトラベル・ホテル専門学校 建物（11,640 m²）

東京工学院日本語学校 建物（264 m²）

野外運動場 11,111 m²

2 事業の概要

法人全体（2022 年 5 月 1 日現在）

法人名 学校法人田中育英会

法人認可 1965 年 7 月 20 日

所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-30-16

代表者 理事長 上島 万紀子

役員 理事 6 名

監事 2 名

評議員 14 名

（1）設置する学校（2022 年 5 月 1 日現在）

① 東京工学院専門学校

所在地 東京都小金井市前原町 5-1-29

入学定員 880 人 総定員 1920 人 在籍数 793 人

学科数 25 学科

教職数 本務 48 人 兼務 200 人

教育内容 総合学院として工学系・芸術系・教育系の学科で多種多彩の人材を育成

② 東京エアトラベル・ホテル専門学校

所在地 東京都小金井市前原町 5-1-29

入学定員 380 人 総定員 760 人 在籍数 265 人

学科数 11 学科

教職数 本務 25 人 兼務 70 人

教育内容 総合学院としてホテル・ブライダル・エアライン・語学の学科でグローバルな人材を育成

③ 東京工学院日本語学校

所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-30-16

入学定員 50 人 総定員 100 人 在籍者 5 人

学科数 3 学科

教職員 本務 5 人 兼務 2 人

教育内容 外国人留学生に対して日本語教育をおこない、専門学校及び大学への進学を目指す

(2) 事業に関する事項

東京工学院専門学校、東京エアトラベル・ホテル専門学校両校は地域連携事業として、小金井市・国分寺市と包括協定を結び事業展開を始める。

小金井市政 60 周年 P V 制作、国分寺市民結婚式の企画・運営など地域との連携事業を学生の実務教育の場として今後もさまざまな展開を推進。

2020 年度
自己評価報告書

学校法人 田中育英会
東京工学院専門学校

1. 学校の教育目標

本学の教育理念、目的、育成人材像は学校創設者による「建学の精神」に示されている通り、己の天職を求めて研鑽に励み、国際社会の文化と福祉に貢献することを目的に学問をし、豊かな人間性を育むと共に常に専門知識の奥深さを究明しながら、天職をまっとうし得る人材を育成することである。

本学は学校教育法による教育機関として、工学、情報技術、芸術、スポーツ/教育分野に関する専門教育を行い、専門的知識・技能の修得だけでなく、総合力・人間力を兼ね備えた有能にして教養のある人材を育成することを目的としている。

その具現化のために専門に関する基礎知識を学び、インターンシップや校外実習を行い、また学内においても近隣の子供たちを対象に有料、無料の各種教室/事業を学生自身が立ち上げ運営しており、社会人として必要な次のような能力を育むことを具体的な教育目標としている。

- ア) 自ら考えて行動できる能力
- イ) コミュニケーション能力
- ウ) リーダーシップ&チームワーク
- エ) チャレンジ精神

またイギリスのオックスフォード大学をはじめとする、アメリカ、ニュージーランド等の海外姉妹10大学との交流により、国際感覚、語学力を養うことも大きな目標である。

毎年、海外姉妹校からは教授/学生が来校し、本校の学生と交流するインターナショナルウィークがある。逆に海外姉妹校へは本校の選抜された学生が招待され、授業やホームステイ体験等により、語学や外国文化を学ぶことができる。このようにして将来国際社会の文化と福祉に貢献が期待される人材を育成することも目的の一つとしている。

また、小金井市、国分寺市とは地域活性化連携協定を締結し、さらには長野県佐久市との連携も進めており、社会貢献/地域貢献による学生の学修機会のさらなる拡充を図っている。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

社会の変化や教育界の改革などにより大きく変動するマーケットの中で、本校ならではの価値の最適な進化とそれに伴う募集広報力の改革的向上を図るため、本校のブランド価値をより明確に高めるための3ヵ年計画「テクノス戦略2020」を策定しその集大成の3年目を迎えた。具体的にはブランド価値構築、学修支援、キャリア支援、募集広報など7つの戦略テーマと目標の達成に向け、アクションプランを着実に遂行する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色はあるか	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

① 課題

- ・急速に変化する業界のニーズを迅速に的確に把握し学修に活かす。

② 今後の改善方策

- ・学生たちの将来の目標を叶える根幹が、学校の理念、目標、人材育成像の具体的実行にあることを示す。そのため入学時に「TECHNOS NOTE」を学生に配布し、各教員が教室で話す内容を統一し、建学の精神、教育理念、人材育成像等を教室で定期的に暗唱させる等行い教育の目標を理解させる。

③ 特記事項

- ・専門力の育成だけでなく人間力・総合力育成のために4つの学習方法を実践している。課題解決型学習/実働実践型学習/主体的参加型学習/海外体感型学習である。
- ・社会探求/業界のニーズ把握を目的とした企業インターンシップも積極的に実施している。

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与等に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

①課題

- ・新規雇用者へのコンプライアンス教育の実施と継続的な研修実施。

②今後の改善方策・

- ・就業規則、給与規定等の規定は2021年4月1日付で改定を実施する。
- ・コンプライアンスについては定期的な講習会の開催及びeラーニングの導入も検討する。

④ 特記事項

- ・事業計画、収支予算については、毎年度理事会にて審議・決定している。また、年度初めに理事長から全教職員に対し、年間目標・年度方針が伝達され、全教職員が目標達成に努力している。
- ・情報公開は、ホームページ、パンフレット等により適正に公開している。
- ・情報システムは、info Clipper, info Cloud を導入し業務の効率化/情報管理の適切化を図っている。
- ・事務局内に総務部/教務部/広報部など5部を設け円滑な学校運営を促進している。

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1

・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

①課題

- ・職業教育に対する外部関係者からの評価を教育に反映しやすい組織作り。
- ・教員が先端的な知識技能を修得するための研修・機会の増加。
- ・Technos ゼミの全学科カリキュラム化

②今後の改善方策

- ・教育に関する外部関係者の意見を参考にして、外部評価の制度化を図る。
- ・教務部主導で外部研修への参加/学内研修の実施を推奨する体制作りをする。
- ・課題解決型学習、実働実践型学習、主体的参加型学習、海外体感型学習等、学習機会を拡充し、社会変化に対応できるためのカリキュラムや教育方法の工夫/開発を行う。
- ・社会・業界/職業の変化に照らして次年度系・学科の再編を実施する。

③特記事項

- ・社会探求&連携推進チームを立ち上げ、社会の変化に関する情報を全教職員で共有している。
- ・ゼミの講師として企業/団体等で活躍している人を招き最新の情報を取得している。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

① 課題

- ・キャリアセンターが発信する情報に対し、学生自らが進路について主体的、積極的に考察するための工夫が必要であること。
- ・各学科の担任の就職指導に対する意識強化。

②今後の改善方策

- ・キャリアセンターが毎月行っている全学生の就職活動状況のモニタリングをもとに各担任が学生に指導を行う。
- ・工学院/エアトラのキャリアセンターを統一し業務の効率化を図る。

③特記事項

- ・就職内定率が100%又はそれに近い内定率を保持する学科が多い。
- ・学生が地域住民を対象とした保育支援、サッカースクール、スイミングスクール等の運営をして実学を学修すると同時に地域住民との連携を図っている。
- ・資格取得を目指す学生数は以前より増加しており、受験者全員が合格を成し遂げている学科もある。

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

①課題

- ・ここ数年は、経済的/精神的な悩みを抱えている学生が少なくなく、相談内容も今まで以上に多岐に亘っている。

②今後の改善方策

- ・本校独自の奨学金制度の拡大を検討する。
- ・経済的に厳しい学生には各種奨学金制度の紹介を徹底する。

③特記事項

- ・キャリアセンターが、卒業生の転職相談にも対応している。
- ・各業界で活躍する卒業生を在校生の進路ガイダンスに招き、業界の最新ニュースや体験談を披露している。
- ・スクールカウンセラーを採用し、カウンセリングルームを設置済。学生/教職員の日頃の悩み相談を行っている。対面だけでなく電話/メール/Lineでも相談可能。
- ・コロナ禍で採用試験を中止した企業が多かったため、次年度就職を目指す学生のため在籍1年延長制度を設けた。
- ・学生1人1台PCを実現するために経済的に困窮する学生に学校所有のPCを安価で提供した。

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

- ・次年度夏に教員室のリニューアルおよびペーパーレス化を計画。さらに年度末には図書館のリノベーションを予定している。

② 今後の改善方策

- ・学内施設については、各施設・設備の担当職員が平素より点検保守に努める。
- ・学外での実習施設、インターンシップ等については、学生のニーズ/適性を踏まえた受入れ先企業、施設のさらなる開拓を行うとともに、学生へ実習内容はもとより、安全面に配慮すべき事前説明も行う。

③ 特記事項

- ・本学は一つの校舎で32学科(姉妹校含む)の学生たちが学んでおり、それぞれの分野の専門を学ぶと同時に様々な分野の学生たちと交流することにより、人間的に成長できる環境がある。本校はこれまでも海外姉妹校との交流を積極的に展開しており、イギリス・オックスフォード大学への研修をはじめ、欧米の姉妹校との親善交流など、他に類を見ない海外教育機関との独自のネットワークを構築しており、個々の学生が在学中に世界に触れる機会を用意している。
- ・専門学校として必要な普通教室、それぞれの学科内容に合わせた実習室、図書室、保健室、学生食堂、体育館、室内プール、総合グラウンド等の施設・設備がすべて完備されている。
- ・全館Wi-Fi設備の設置を完了した。

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動は、適正に行われている	④	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

①課題

- ・本学院の募集活動は、募集特化の部署だけに任せるのではなく、多くの部署の教職員が各々の役割を持って募集にあたることで、総合学院としての利点を活かし、希望者のニーズに合わせた正確な情報提供を行っていくことを主眼におく。

②今後の改善方策

- ・学生の募集活動については在校生の母校教諭および後輩への口コミ広報を強化する。
- ・入学前から本校を理解するためのオーディション入学を導入した。
- ・OCに参加した2年生の再集客に注力する。

③特記事項

- ・高校訪問やガイダンス等を教員が担当していることで、希望者に直接本校の特長を伝えることが出来ており、高校側のニーズに対しても早急に対応が可能である。
- ・体験入学は学生がPBLとして企画実施しており、高校生一人ひとりへの問いかけやカリキュラムの紹介等を行っている。

(8). 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

①課題

- ・学校運営にとって、財務基盤の安定確保が重要であり、外的情勢（少子化・大学全入・経済状況・所得環境）など厳しい状況の中でも左右されず、常に安定した入学者の確保が最重要課題である。今まで以上に財務計画については綿密な分析・計画・戦略が必要であると考えられる。

②今後の改善方策

②今後の改善方策

- ・ 予算計画の改善策として、各部署の予算編成にあたって前年度踏襲型になりがちである予算に対しては、年度の戦略計画を十分に検討し効率的な予算配分を行う

③特記事項

- ・ 中長期的財務基盤は安定している。
- ・ 事業計画に基づき収支予算案を編成し執行している。
- ・ 法人本部の所管で公認会計士による外部監査、及び監事による内部監査を実施。

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 全教職員が一般法令はもとより、学校運営において遵守すべき各種法令/専修学校設置基準/学則等を理解し、遵守する必要がある。

②今後の改善方策

- ・ 関係法令の改正が行われた場合は、今後とも各説明会に出席し、朝礼や各系・部署の会議を通じて情報を共有する。

③ 特記事項

- ・ 各系部長を構成員とするボード会議を定期的開催し、法令等の遵守に関して各教職員情報を共有できるようにしている。
- ・ 個人情報の取り扱いについては、当該学生/保護者等に対し、あらかじめ文書で利用目的を明示し、利用について同意を得ることを厳守しており、個人情報へのアクセスを制限して漏えいを未然に防止している。
- ・ 必要に応じて顧問弁護士、社会保険労務士に指導を仰いでいる。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

① 課題

- ・小金井市、国分寺市と「地域連携包括協定」を締結しているが、今後、長野県佐久市とも連携を模索中である。

② 今後の改善方策

- ・本学の全ての学科が社会貢献/地域貢献としての「実務教育」を実践する体制を整える。
- ・社会探求&連携チームをプロジェクトとして立ち上げる。

③特記事項

- ・本校は小金井市、国分寺市と包括連携協定を締結し社会貢献、地域貢献拡充を図っている。具体的な取り組みとして、小金井市より受託し本校学生が制作した小金井市市制60周年プロモーションビデオを制作した。また、小金井市認可保育園「東京工学院きしゃぼっぽ保育園」の開設、地域の子育て支援サークル「ちびっこだんぶり」開設による子育て支援にも積極的に携わっている。加えて、近隣の小学生を対象とするサッカースクール、スイミングスクールの運営や中学校のキャリアガイダンスの一環である「職業体験実習」等も積極的に受け入れている。
- ・国分寺市とは国分寺市民から希望者を募り、市長立会いの下「シビルマリッジ」を実施した。

(11). 国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④	3	2	1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	④	3	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	④	3	2	1

① 課題

- ・本校では毎年、イギリス/アメリカ/ニュージーランドの海外姉妹校 10 大学から教授、学生が来校し、2 週間にわたり本校の学生と交流するインターナショナルウィークを実施しているが、コロナ感染拡大のため今年度はオンラインにより実施した。

② 今後の改善方策

- ・コロナ禍で海外との往来ができないため、インターネット等の媒体による効果的な国際交流を検討する。

③ 特記事項

- ・学生の海外理解を深めるために、毎年海外姉妹校の卒業生を Teaching Assistant として 1～2 名招聘している。
- ・留学生担当の専任教員を採用し、留学生の生活相談にも応じている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

社会の変化/企業のニーズを把握し、それに対応したカリキュラムを編成して、常に時代の変化に対応している。また、卒業後即戦力となり、かつ社会常識とマナーを身につけた国際人となりうる人材を社会に送り出している。

2021 年度から 5 か年戦略をプランして実行する「テクノス戦略 2025」を策定している。

今後も「建学の精神」のもと、社会のニーズを的確にとらえた充実のカリキュラムにより、高い専門知識はもちろん総合力、人間力を身に着けた「本物の職業人」の育成を目指している。